

CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市南区皆実町計画	階数	地上19F 地下0F
建設地	広島県広島市南区皆実町一丁目18	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	806 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2024年4月1日
敷地面積	5,142 m ²	作成者	株式会社浅沼組
建築面積	1,405 m ²	確認日	2024年4月1日
延床面積	17,854 m ²	確認者	株式会社浅沼組

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.9	スコア= 2.1	スコア= 3.1
設計の計画上位段に配慮した事項 日本住宅性能表示基準5-1における等級5相当の外皮性能をもたせることで省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。//高効率給湯器等、高効率な設備システムを採用することで省エネルギーに配慮している。//LGS下地+仕上げ材とし、分別を容易にすることで部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。//ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。	設計の計画上位段に配慮した事項 付置義務台数の駐輪・駐車スペースを確保している。/	設計の計画上位段に配慮した事項 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される